



平和を考える日

福井小学校では、毎年この時期(今年度は6/26~7/2)を「平和を考える日」として、学年に応じて核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さについて学習し、生命の尊さや人権の大切さ、そして『自分自身の生き方』について考える機会にしています。

6月26日(火)の朝会で、6年生は、修学旅行で学んだことを全校児童に伝えました。

そして、低学年は「おかあちゃんごめんね」、中学年は「ちいちゃんのかげおくり」、高学年は「つるにのって」をDVD視聴しました。

今回の学習について書いた子どもたちの感想の一部を保健室前に掲示しています。個人懇談会でご来校の際にご覧ください。



平和記念公園でのセレモニー

【児童の感想】

• すごくからだがつるえた。あんなことがここにおきたらどうしよう。このまちをやいたらこまるし、かぞくをなくしたらどうしよう。そんなことをしたひとはゆるさない。(1年)

• おかあさんをおいていくのがつらかったでしょうね。わたしがきぬちゃんだったら、いっしょににげようといひます。わたしはこれからみんなとなかよくしたいです。(1年)

• じぶんはじしんをけいけんしたけど、せんそうはもっとひどいことだとおもいます。へいわは、みんながよく話して、せんそうがなくなってけんかがなくなったらいいです。(2年)

• なんでせんそうをはじめるようになったのか。せんそうをしなきゃ、人と人がかなしまなくていいのに。しんでしまった人がなん人もいるのに。なぜせんそうをしたのか。B29がなぜばくだんをおとしたのか。日本がなぜせんそうをしたのか。せんそうはもうしたりするのはいやです。(2年)

• ちいちゃんのかげおくりを見て、せんそうはしたくないけど、みんなせんそうのたまごをもっている。だからぼくがしぬまでにもう一度せんそうがおきるかもしれない。でも、もう

二度とせんそうをしてはいけないといえる人間になりたい。(3年)

• ちいちゃんのおにいちゃんとおかあさんとおとうさんがしんだところがかんしかつた。せんそうがなかつたら、みんなの平和な町になつたとおもいました。クラスのみんなのせんそうをなくすほうほうがあります。それは人にやさしくすることと、ケンカをせずわる口をいわなかつたら平和なやさしいクラスになるとおもいます。(3年)



広島での聞き取り学習

• このビデオを見て、せんそうがおきれば、人が悲しむだけだから、せんそうはもうしたくないとおもいました。せんそうで人が死んだりするのはいやだと思いました。せんそうのたまごをなくしたいと思いました。(4年)

• せんそうはこわいものだし、せんそうでひとつの命がなくなっていくし、ひとつひとつの命がたいせつだから、もうせんそうはしてほしくないです。どうして人は人の命をねらつて、人の命がなくなるのがおもしろいのかなとおもいました。(4年)

• わたしはこれからやさしい心もちたいです。ひとりひとりにやさしい心がなかつたら、またせんそうがおこつてしまうかもしれないから、すこしずつでも平和になつてほしいと思います。(5年)

• 教室でやさしくしたり、人に物をかしてあげたり、少しずつでいいので小さな戦争をへらしていきたいです。最後には、世界中の人が笑顔にくらせる地球になればいいなと思います。(5年)

• つるにのってを見て、私は二度と戦争をくりかえしてはならないと思いました。えい像にもでてきたように、友だちや家族、知らない人でも、ひふがはがれて亡くなつてるところなど見たくありません。もし、爆だんが落ちてきても私にはふきとばすことなんてできません。けれど、その爆だんかへいきをなくすことはできます。私は、そんな広島の実事をこれからの人に教えてあげたいです。世界からかへいきがなくなり、平和な世界をつくるのは世界の人々だと強く感じました。(6年)

• 前にも戦争のことをよく学んで、戦争が終わつても人々のくらしがひさんなことがよくわかりました。戦争は、みんなのしあわせな生活をうばっていくのでぜつたいにだめです。おととい校長先生が言つていたことは、みんな戦争の卵を持っているということを知つて、けんかやいじめはだめだとわかりました。(6年)



報告集会